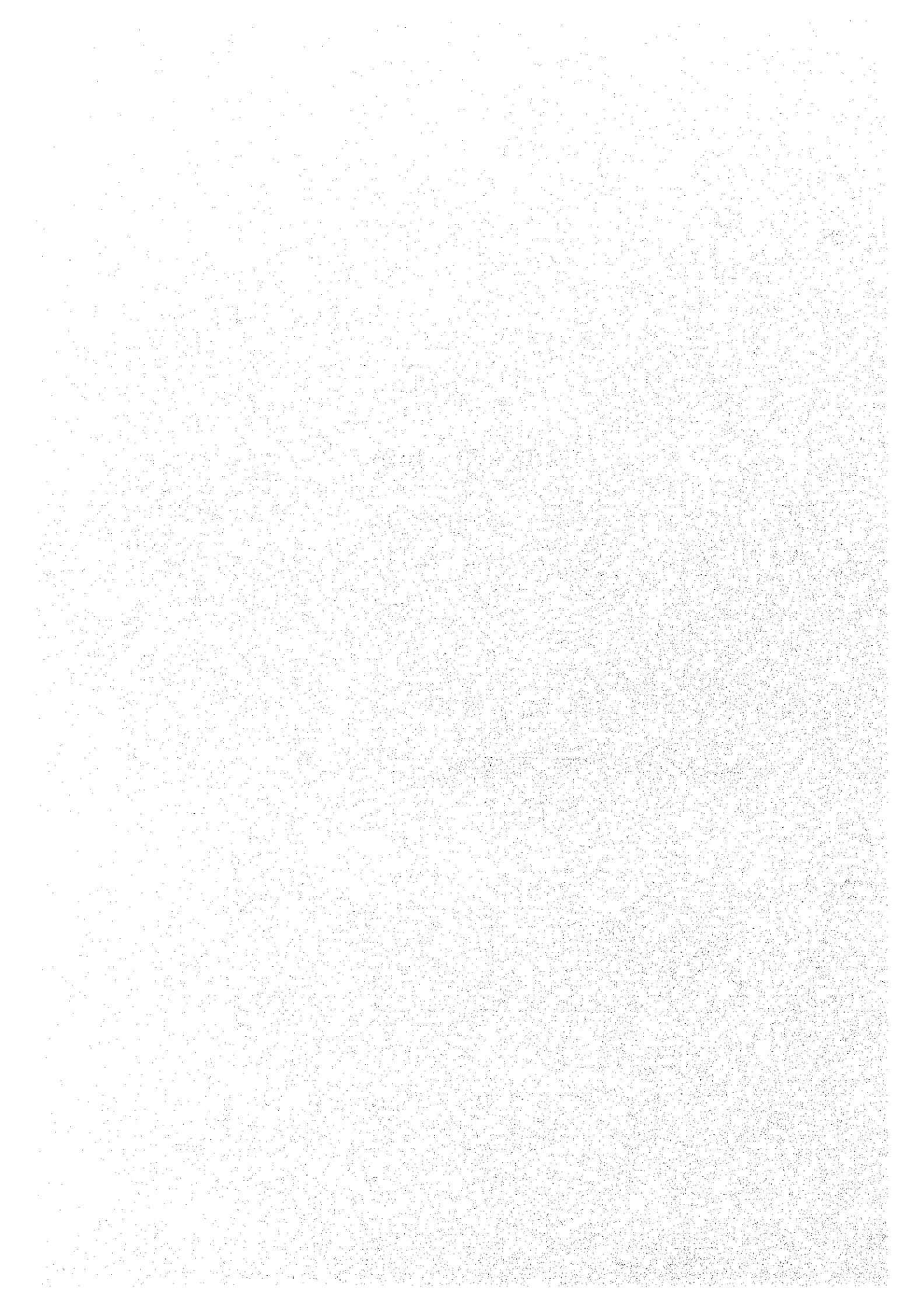


第5章 提言



第5章 提言

5-1 開発調査の裨益効果モニタリングに関する提案

開発調査の裨益効果には様々なものがあるが、大きくわけて「開発調査が実施されている間」に期待される効果と、「調査終了後」に発揮される効果がある。この「調査段階」と「調査終了後」の裨益効果を比較すると、「期待される効果の種類」と「効果を作り出す要因」という二つの面で大きく異なっている。

したがって、開発調査の裨益効果をモニタリングする場合は、「調査実施段階」と「調査終了後」というそれぞれの段階の特徴に合わせたモニタリングの視点を持つことが適当と考えられる。現在実施されているフォローアップ調査は、「調査終了後」の展開に注目したモニタリングであり、これをより一層充実させていくということが重要である。他方、「調査実施段階」の裨益効果のモニタリングについては、モニタリングの手法、情報の整理、新規案件へのフィードバック等が、まだシステムティックには実施されていない。

5-1-1 開発調査の実施から終了まで（第1段階）－「技術移転」

効果の種類：「技術協力と技術移転」

開発調査が予定どおり終了し、報告書が提出されたことをもって、技術協力（計画作り等を支援するための）としての開発調査の目的は達成されたといえる。

調査結果そのものの完成とならんで、調査実施を通じた相手政府機関への技術移転も見逃せない実現裨益のひとつである。特に、中長期的な地域開発マスタープラン調査や、土地利用計画調査といった政策づくりを支援するタイプの開発調査では、「技術移転」の要素が大きい。また近年の傾向を見ると、開発調査の一環としてパイロット事業を導入するケースが増加しつつある。そのようなケースでは、パイロット・プロジェクトを通じた技術移転そのものが調査事業の中心となり、まさに調査実施のプロセスの善し悪しが問われることとなる。

効果を左右する要因

開発調査実施中に期待される効果があがるかどうかは、SW 締結までのプロセスやカウンターパート機関の協力体制といった調査の運営体制等にかかわる要素が大きく影響する。この点については、本フォローアップ調査のスコープではカバーされていない事柄ではあるが、今後の開発調査事業の改善をはかるうえでは、もう一つのモニタリング（あるいは評価）の視点である。

モニタリングの視点として一例を挙げれば、調査実施の準備段階での調整は、カウンターパートとのパートナーシップを醸成するうえでの基本であり、調査の成果を左右する非常に大きな要素となる。また、相手国側がより積極的に調査プロセスに参加し、調査結果に対するオーナーシップを高めるような工夫も重要である。例えば、カウンターパートとの共同作業やパイロットプロジェクト実施等に

十分な時間と労力を割くことが、調査の技術移転効果を高めるひとつの方策であろう。

求められる調査実施プロセスにおける課題の整理

以上にあげたような調査実施段階での課題を把握し、その結果を、調査案件の「形成・準備・実施」段階の改善にフィードバックする手段が必要である。本フォローアップ調査は、主に「調査終了後」に焦点をおいて情報の収集分析を行ってきたが、これまでに多くの事例について実施してきたアンケートや現地調査の経験から推測すると、「調査終了後」の展開が「調査実施段階」で決まってくる場合も少なくないと考えられる。しかしながら、さきに挙げたような調査プロセスに係る事柄については、アドホックな対応や業務監理という観点からの情報収集は随時おこなわれてきたものの、より踏み込んだ形で課題の全体像が整理されたことはない。また、上に挙げた例からもわかる通り、「実施済み案件のフォローアップ」というスコープでは整理しきれない事柄が多く、別途「開発調査の実施運営面の改善（仮）」という観点から、現状と問題点についてデータを収集・整理する必要がある。

5-1-2 提言等の活用状況（第2段階）－「提言内容の活用」

調査終了後に期待される効果は「開発事業の進展・促進」が中心となる。提出された報告書の提言がいかに開発の推進のために活用されたかが開発調査に関する裨益効果モニタリングの対象となる。調査終了後の効果の大きさは、調査結果そのものが活用しやすい内容であったかどうかということが重要であると同時に、その提案内容を事業化する体制が十分であるかどうかといった相手国の事情によるところも大きい。

開発調査結果の活用のされ方は、フィーシビリティ（F/S）型調査とマスタープラン（M/P）型調査で大きく二つに分けられる。F/S 調査の内容が「特定の事業の準備」であるのに対して、M/P 調査はその前段階にあたる「計画作り」という性格の違いがあり、直接同じ尺度で比較することが出来ないからである。

フィーシビリティ調査の結果に関する活用度合を評価するための基準は、次の2項目が設定できる。

- ・フィーシビリティ調査において提案された事業がなんらかの形で実現に結びついたかどうか。
- ・フィーシビリティ調査において収集分析された資料や立案された計画が、関連する他の事業や計画で活用されたかどうか。

マスタープラン調査の結果に関する活用度合いを評価するために次の2項目が設定できる。

- ・F/S等の次段階調査に結びついたかどうか。
- ・当該国の政策に反映された／カウンターパート機関の事業計画に反映されたかどうか。

5-2 フォローアップ調査における裨益分析に関する提言

5-2-1 「切り口」をさだめた実施済開発調査の活用状況分析

「切り口」のジレンマ：「標準化 vs 個別」

開発調査の活用状況については、すでにふれてきたとおり、総合的な視点から検討されるべきである。提案事業のうち何%が実現化したかという比率みならず、開発調査結果の当該国の開発政策への取り込み、開発調査実施の過程における技術移転の成果、開発調査で収集された各種データの利用範囲と利用頻度、技術協力の成果としての開発調査結果、等の複眼的視点から総合的に把握していく必要がある。

その一方で、実際に活用状況を把握する作業を進める際に問題となるのは、状況を判断する基準や視点をどこにおくかということが常に大きなジレンマを抱えていることである。すべての分野、すべての地域に共通な「標準化」された尺度を適用すると、その結果も非常に「一般的」なくくりとならざるを得ない。その結果は、開発調査全体の情報を整理し、大きな傾向をつかむうえでは必要かつ有用ではあるものの、その結果を個別案件のレベルにフィードバックして、新しい調査案件の改善に利用するということになると、示唆される内容が一般的すぎて具体的な改善策へとは発展しにくい（例えば「提案が実施にうつされないのは相手国の資金が不足している」というような切り口になる）。

他方、個別の案件に密着した形の分析方法をとると、非常に個別具体的な要因が明らかになる一方で、個々の案件の特有な条件がクローズアップされるために、条件の異なる他の案件実施への応用がしづらい面がでてくる。また、すべての案件について詳細な事例調査を実施するのは時間や予算の制約から考えても難しい。

分析テーマの設定と「切り口」の選択

このようなジレンマを解決するひとつの手段として、案件をテーマ、地域、分野等によって類型化・グループ化したうえで事例分析を行うことが考えられる。例えば、「小規模灌漑」に的を絞った地域間比較分析を行えば、地域的な差異による課題と地域間に共通な課題の整理が可能となる。逆に、対象国を絞ったうえで「住民参加型」といったテーマを設定して比較調査をすれば、異なる分野に共通する「参加型開発計画作りの課題」等といったテーマを軸とした要因がより把握しやすくなる。このように、地域やテーマの範囲を絞り込みつつ組み合わせることで、案件の形成や運営にに 응용がしやすい形の分析を行うことが可能となる。

5-2-2 バランスのとれた裨益効果分析の重要性

本年度のフォローアップ調査では、実施済開発調査の裨益および実現化した提案事業の裨益に関する評価を試験的に実施した。今後とも定量的把握に主眼を置いた裨益分析の重要性は高まっていく

と考えられる。従来は、開発援助のうち、なんらかの理由により提案どおりの裨益を發揮していない事業化案件がマスメディアで報道される傾向があった。それはニュース性の観点から仕方ない面もあるが、それらの報道のみが国民に認識される結果、一方で高い裨益効果が認められる事業化案件の情報が正確に伝えられない可能性が存在してきた。継続的かつ各国、各セクターにわたってバランス良く実施される裨益評価作業により、開発援助の総合的な評価結果を国民に提示していく必要がある。

分析方法の組み合わせ：3種類の事後評価

提案事業の実現化後に実施される広義の「事後評価」には、様々な手法があり、それぞれに一長一短がある。評価手法には、大きく分けて、1) モニタリング(Program Monitoring、主に事業の進捗状況に注目する)、2) インパクト評価 (Impact Evaluation、主に事業の実施前と後を比較する)、3) 費用—便益分析/費用—効果分析(Cost-benefit analysis、Cost-effective analysis、主に経済効率性に注目する)²がある²。このうち、インパクト評価と費用便益分析が定量的な評価手法という性格が強い。

本フォローアップ調査においては、従来はモニタリングに重点がおかれていたが、本年度は初歩的なインパクト評価手法まで踏み込んで実施した³ (なお、本報告書では、今年度実施されたような初歩的インパクト評価を便宜的に「裨益効果モニタリング」とよんでいる)

5-3 来年度以降のフォローアップ調査に関する提言

5-3-1 提言1「テーマを絞った裨益効果モニタリングの実施」

今後の調査アプローチとして、よりテーマを絞った形で裨益効果モニタリングを実施することを提案する。例えば、「同一セクターを対象とした裨益効果モニタリングの実施」が考えられる。本年度までは、同一国における複数の開発調査案件を対象にフォローアップ現地調査が実施された。来年度は同一セクターの案件を複数の国にわたって実施するというアプローチである。つまり、水資源開発案件のみをコロンビア、ボリビア、パラグアイ、ペルーで、実施するといった具合である⁴。そのメリットは以下の3点に集約される。

¹ プロジェクトの策定段階でも、費用—便益分析/費用—効果分析が行われる。ただし策定段階は将来予想される便益、効果をもとにした分析であるのに対し、この場合は、実際に発生した便益、効果に関する分析である。イギリスの海外援助において、IRRを事後的に再計算して評価に用いた例がある。

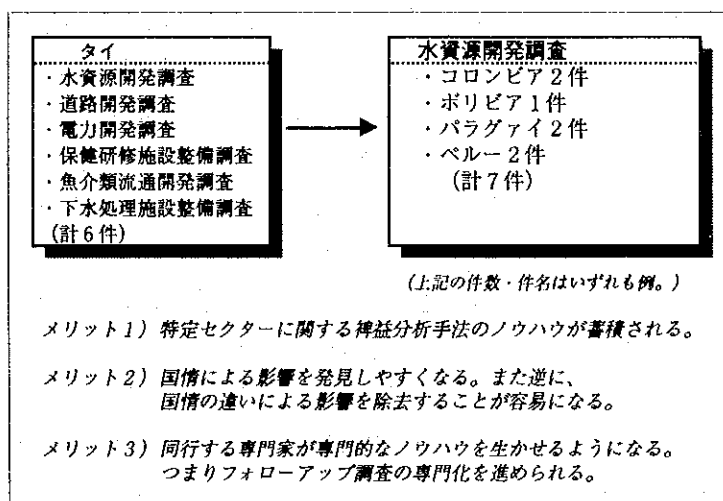
² 'A developmental Stage Approach to Program Planning and Evaluation', Evaluation Review 1989.13(1), S. Mark Pancer and Anne Westhues, Sage Publication.

³ ただし、従来のフォローアップ調査で裨益に関する評価が全く行われていなかったわけではなく、担当機関に対する定性的な裨益評価に関するアンケート調査およびインタビューが行われていた。本年度からこれに加えて、より定量的な裨益評価が実施に移されたと言える。

⁴ 今年度は、複数国において、地図作成案件4件を対象に裨益分析が試行的に実施され、効果的かつ効率的な分析結果を得ることができた。この成果を踏まえ、来年度以降、さらにこのスキームを発展させることが望まれる。

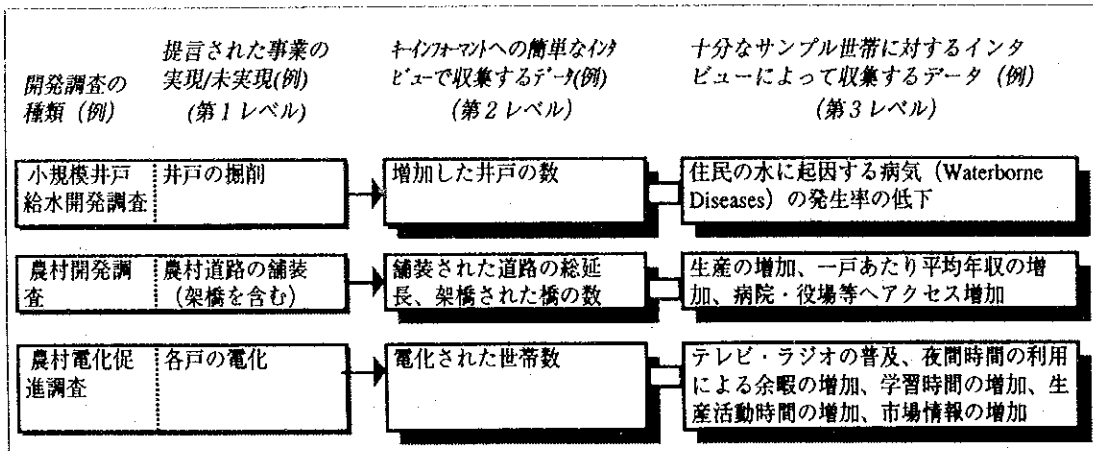
- ・ 特定セクターを対象とした裨益評価手法のノウハウが蓄積されることになる。
- ・ 異なった複数の国の水資源開発案件を比較することにより、国情による影響を発見しやすくなる。また逆に、国情の違いによる影響を除去することが容易になる。
- ・ 同行する専門家が特定セクターの専門家を充てることが可能となり、専門的なノウハウを生かせるようになる。すなわちフォローアップ調査の専門化が進む。

上記の提言を以下の図にまとめた。こうして毎年、特定セクターに関する裨益評価を実施していくことにより、例えば5年で5セクター、10年で10セクターに関する裨益分析のノウハウが蓄積されることになる。



5-3-2 提言2「ローカルコンサルタントの利用」

援助分析は、他の援助国の過去の実例からもわかるとおり、時間的および金銭的コストがかかるものである。従来、裨益評価 (Impact Evaluation) があまり実施されなかった理由のひとつは費用の問題が大きい。しかし、効果的かつ信頼に足る裨益分析を実施するためには、十分なデータ収集が必要である。また、そのデータは既存の統計資料および実施機関の内部データから得られるもののほか、フィールドで新規に収集されるものこそ重要である。そのため、現地のローカルコンサルタントによる事前のデータ収集が欠かせないとも言える。フィールドで新規に収集されるべきデータは簡単な聞き取り調査で収集できるものもあれば、できないものもある。例えば以下のとおりである。



上図のうち、「井戸が掘削されたか」「農村道路が舗装されたか」「電化されたか」という開発調査において提言された事業の実現/未実現を問う定性的な質問に対する回答は、担当省庁の担当者からのヒアリングで把握できることが多い (図中の第1レベル)。

つぎに、「増加した井戸の数」「舗装された道路の総延長、架橋された橋の数」「電化された世帯数」等の定量的な質問は、担当省庁からのヒアリングで把握できることもあるが、必ず回答を得るためには、裨益地域へ出向いてキーフォーマント (例: 村長) 等へのインタビューを実施することが不可欠である (図中の第2レベル)。

さらに、「住民の水に起因する病気 (Water-borne Diseases) の発生率の低下」「生産の増加一戸あたりの平均年収の増加、病院・役場へのアクセスの増加」「テレビ・ラジオの普及、余暇の増加、学習時間の増加等」等の、受益者が中長期的に享受した裨益に関する定量的なデータは、十分な数のサンプル世帯に対するインタビューを実施することが不可欠である (図中の第3レベル)。

今後、裨益分析を深化させていくためには、キーフォーマントインタビューおよびサンプル世帯調査を実施していく必要がある。これらはフォローアップ調査団員が、自ら現地に出向いて実施することも可能であるが、費用が相当に大きくなること、さらに途上国のコンサルタントへの技術移転にもなるという観点から、ローカルコンサルタントを雇用してフォローアップ調査団および事業団の現地事務所の指示のもとに実施させることが効率的かつ効果的である。

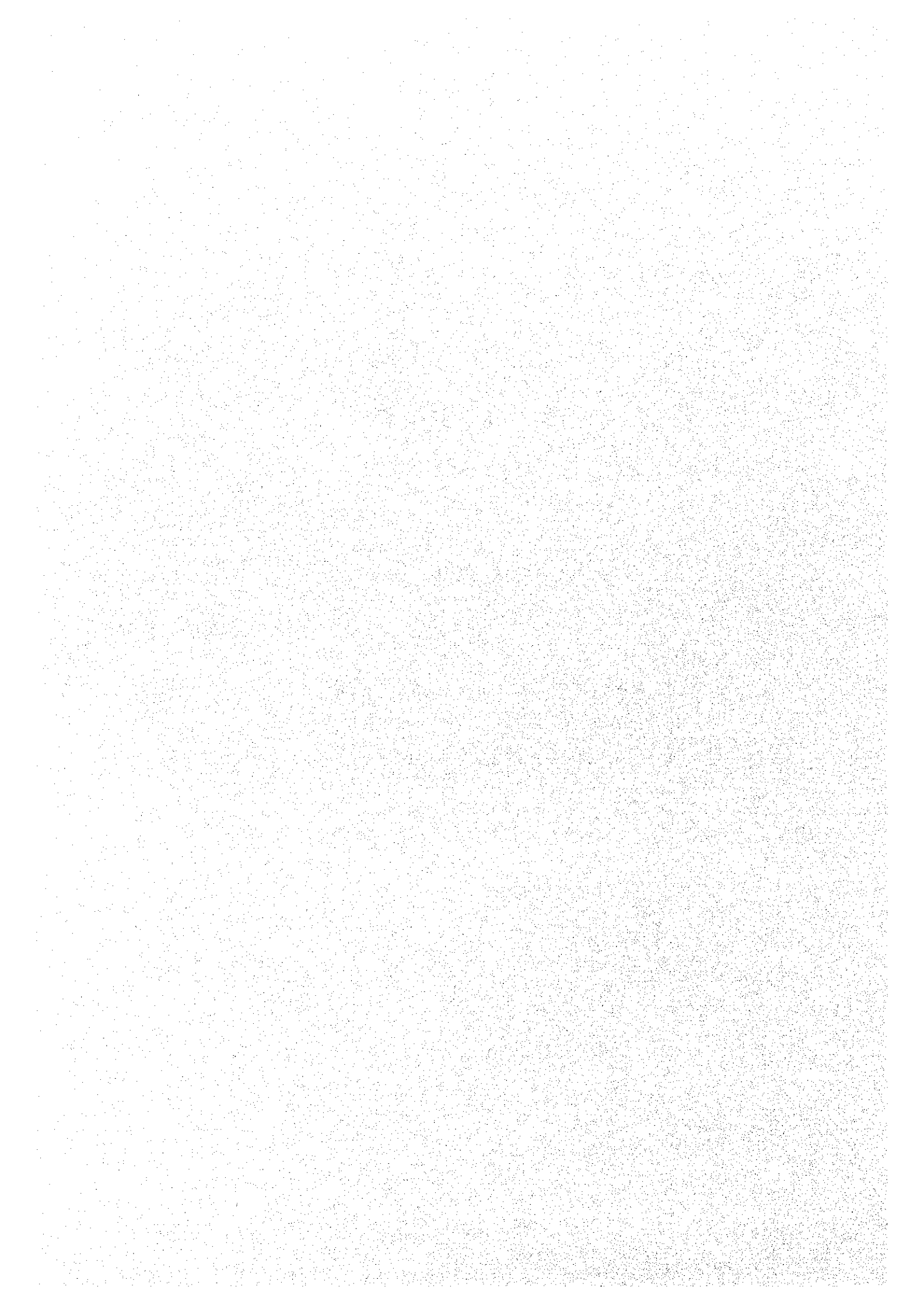
さいわい、「現地フォローアップ調査」として、日本からフォローアップ調査団を派遣しない国において、ローカルコンサルタントを雇用した豊富な実績がある。この経験を最大限に利用して、例えば、南米の複数国に対して「現地フォローアップ調査」を委託し、各国で必ず水資源案件を含めて上記の裨益データを収集させる。そして裨益データが収集されたタイミングで、日本からフォローアップ調査団を南米に派遣して、各ローカルコンサルタントと面接をして、裨益の発現と裨益データの量・質の確認を行う、といった方法が考えられる。

5-3-3 結論

上記で概観したように、裨益分析には複数の段階とさまざまな方法がある。そのどれを採用するかは、客観性の確保という観点と、コスト（金銭的、時間的、人的費用）の投入という観点のふたつの観点から実現可能性の高いものを選定しなければならない。上記の提言は、数多くある選択肢と組み合わせの一例である。今後の開発調査事業へのより効果的なフィードバックや、また情報公開に向けての流れを念頭に置けば、ここにあげた方法に限らず、より具体的かつ外部からのコメントにも耐えうる定量的なアプローチを導入することが望ましく、またその枠組み作りの準備を進める必要がある。

添 付 資 料

- * 現地フォローアップ調査にかかるクエスチョネア（英文サンプル）
- * 裨益効果調査にかかるクエスチョネア（英文・和文）
- * 在外フォローアップ調査にかかるローカルコンサルタント契約T/R（案）



EXPLANATORY NOTE ON
THE FOLLOW-UP SURVEY OF JICA'S DEVELOPMENT STUDIES
For

**Ministerio de Comunicaciones, Transporte y
Obras Publicas**

Background

Since FY 1984, the Japan International Cooperation Agency has been conducting the Follow-up Study of all development studies they have had implemented. The objectives of the Follow-up study are to ascertain the outcome, and the circumstances thereof, of each completed development study, to feed back the findings toward the improved conduct of the future development studies in terms of project identification, and thereby to enhance the realization of the proposed projects/programs. Under the Follow-up Study Scheme, JICA decided to send the Follow-up Survey Team for detailed follow-up study of the development studies on the social Infrastructure sector, agricultural sector, and transportation sector in Guatemala.

Objectives of the Follow-up Survey

We would like to have the information on the following points:

1) To obtain the information on the current status of major development activities in the areas where the JICA studies on the social Infrastructure, agriculture, and transportation were implemented. 2) To ascertain how and when the proposals of the said studies have been utilized. If not fully utilized, to ascertain the reasons and circumstances of non-utilization. 3) To utilize the findings of the survey toward the improvement of the future implementation of JICA development studies and other forms of technical cooperation.

Projects of Interests

Name of Study: Flood Control Project (Archiguate and Pantaleon River)

Study Period: Jul. 1983 – 1985

Project Number: CSA GTM/S 201B/84

Questionnaire

Please answer the attached questions and return it to us by Jan. 5, 1999 via Fax.

Questionnaire for "Flood Control Project"
(Archiguate and Pantaleon Rivers)
Study Completed in 1985 (CSA GTM/S 201B/84)

According to the previous survey, we categorize the current status of this project as **Delayed or Suspended**. We would like to know the following 4 points: 1) current status of the project, 2) factors having caused the project to delay, 3) possibility of future implementation, 4) possibility of an supplementary study or a new study. For these purpose, please answer the following questions. If you have a difficulty to understand and answer some questions, please skip them and go to the next question. We can discuss on the details at a meeting later.

1. Your Name: _____
Position: _____
Tel. Number: _____
Relationship with the stated project: _____

2. Is the Guatemala government still giving the high priority to this project?
() yes () no

If your answer is "no", please explain the reasons.

3. According to our sources, one of the major reasons for the delay in implementing the project is due to a difficulty in finding financial sources.

3-1 Your country requested a grant aid assistance from Japan in order to implement part of the proposed project. Are the procedures or system for requesting grant aid assistance and an OECF loan of Japan well informed in your country?

- () yes () no

If your answer is "no", please give us more details or comments.

3-2. Are there any other financial resources arranged or considered of finance for the remaining parts of this project besides a grant aid assistance from Japan?

yes no

If your answer is "yes", which organizations are they? Please choose from below.

Bilateral; Grant Loan Other

International Agency; Grant Loan Other

Private; Private bank loan BOT scheme As private project Other

Other form;

Please specify (the name of country, agency, banks, amount , etc.);

4. What do you think of the reasons for delaying the implementation of the proposed project, besides difficulties in finding financial sources? Please choose one or more from below from below.

Change in government policy

Change in demand

Privatization

Physical changes at the project site

Change in land use

Technical difficulties

Project scale

Political problem

others

Please explain in the details.

5. Please provide us information about the future schedule and/or any promoting (positive) factors for implementing the proposed project .

6. Do you consider that the future estimates (and its methodology and assumption) of total area inundation due to flood of Achiquate and Pantaleon rivers in the M/P and F/S are still relevant today?

- very relevant relevant not relevant

If your answer is "not relevant", please explain the reasons.

7. Do you consider that the cost estimates (and its methodology) used in the M/P and F/S are relevant?

- very relevant relevant not relevant

If your answer is "non-relevant", please explain the reasons.

8. Do you consider that the financial plans proposed in the M/P and F/S are relevant for both construction and operation, and maintenance?

- very relevant relevant not relevant

If your answer is "not relevant", please explain.

9. Were there any technical transfer during the study period?

- On-the job training

Please specify (ex. Instruction of equipment donated, preparation of the study report and so on.):

- Training in Japan

Please specify:

- Seminars/workshops

Please specify:

- Other s

10. Sometimes the situation surrounding the project changes after the study was conducted due to unexpected causes. In any cases, some supplementary studies may be needed. Do you have any ideas about supplementary studies or a new studies related to this project?

yes no

If your answer is "yes", please explain.

11. Are there any comments and/or recommendation related to this project?

yes no

If your answer is "yes", please explain.

12. Are there any comments on the JICA's development study to improve the present study scheme?

yes no

If your answer is "yes", please explain.

**Questionnaire for "Mapping Project for Metropolitan Area of
San Jose City" Study Completed in 1991 (CSA CRI/S 501/91)**

According to the previous survey, we categorize the current status of this project as **Utilized**. We would like to know the information on;

- 1) locations of the maps
- 2) utilizations of the map
- 3) direct or indirect technical transfers by JICA

For these purposes, please answer the following questions. If you have any difficulties to understand and answer questions, please skip them and go to the next question. We can discuss those at a meeting later.

1. Your Name: _____

Position: _____

Tel. Number: _____

Relationship with the stated project: _____

2. According to the comprehensive project report produced in 1991 Dec., 1) 1,500 **Basic City Maps** and 2) 1,000 **Land Use Maps** were handed over to IGN.

2-1. Please fill the following blanks to inform us the approximate number of the maps allocated by the end of Dec. 31, 1998 at the following institutions.

< Basic City Maps >

- () state government agencies
- () municipal government agencies
- () private companies
- () research institutions
- () libraries and schools
- () donor agencies
- () others (please specify:

< Land Use Maps >

- () state government agencies
- () municipal government agencies
- () private companies
- () research institutions
- () libraries and schools
- () donor agencies
- () others (please specify:

2-2. Please fill the attached form for more details,(Names of Distributed Places) .

2-3. Please fill the percentages of the total distributions in the following blanks to inform us how the maps were distributed.

- (%) Sold
 (Please specify the appx. price sold, if it is possible:)
- (%) Provided in free of charge
- (%) Reserved for the future use in government offices

3. According to our sources, the maps were used for other government projects, such as an urban planning, a public transportation planning, a major road planning, telecommunication planning, and others. As examples, please list 10 projects with names of executing agencies and the briefs..

	Project Name	Executing Agencies	Brief on the Project and Utilization of the Map
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

4. Please fill the following blanks to inform us the approximate number of the maps distributed in the libraries.

4-1. A total number of libraries in San Jose ()

4-2. A total number of libraries in Costa Rica ()

4-3. A total number of libraries that received the maps ()

4-4. Names of libraries that received the maps and the lending rate per year.

	Name	Lending rate per year	
		Basic City Map	Land Use Map
1	Sample: XXX Central Library	10	5
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

5. Technical transfer to produce the maps were JICA's one of the major objective of the project. Also, JICA's long-term experts were dispatched to your government to teach the map producing technics.

5-1. Were there any technical transfer during or after the study period?

On-the job training

Please specify; (ex. Instruction of equipment donated, preparation of the study report and so on.)

Training in Japan

Please specify;

Seminars/workshops

Please specify;

Other s

5-2. Please specify the major achievement s of the above technical transfer.

--

5-3. Please provide us the names of the persons who received the above technical transfer and other related information, especially the those met JICA's long-term experts during their stay.

	Name of the Person	Name of Agency	Type of Trainings	Year Receiving the Training
1				
2				
3				
4				
5				

6. Please fill the blanks to inform us any changes in last 6 years.

6-1. Were the maps updated or changed ?

Yes () No ()

6-2. Were the maps additionally printed?

Yes () No ()

If you answered " No", please explain below.

6-3. Are there any plans to print more maps ?

Yes () No ()

7. The purpose of the following questions are **not** to ask you about a request for new development projects or studies. Please provide us the following information for further references.

7-1. Do you feel necessities for any complementary studies related to the mapping project provided by JICA?

Yes () No ()

7-2. Please suggest supplementary studies related to this project, if you have.

8. According to our sources, your government are planning to produce digital maps for the remaining 50 cities. Is this true?

Yes () No ()

8-1. If your answer is "Yes," have a grant aid assistance or an OECF loan from Japan been requested?

Yes () No ()

8-2. If your answer is "Yes", are the procedures or system for requesting grant aid assistance and an OECF loan of Japan well informed in your agency?

Yes () No ()

8-3. If your answer is "no", please give us more details or comments.

What will be other financial sources? Please mark one or more from the following.

Local;

Bilateral; Grant Loan Other

International Agency; Grant Loan Other

Private; Private bank loan BOT scheme As private project Other

Other form;

Please specify (the name of country, agency, banks, amount , etc.);

‘Water Distribution System Rehabilitation Plan in Damascus’

(Formal name could be slightly different from the above)

12/4/1998

Study Description

1、 Direction

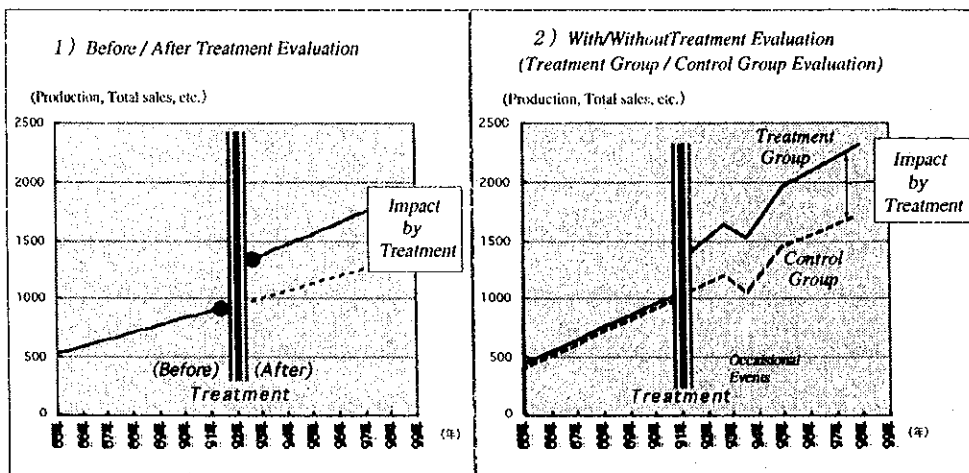
This follow-up survey is a kind of ‘evaluation’. Especially the study team will devote much time to quantitatively evaluate ‘program impact’. The study consigned to a local consultant is a part of this evaluation process. Unfortunately, because of time constraint, we must employ some simple models for evaluation.

2、 Models for impact evaluation

Both of the following two simple models, or at least one of them¹ should be employed for impact evaluation.

- 1) Before/After Treatment Evaluation
- 2) With/Without Evaluation (Treatment Group / Control Group) Evaluation)

Applying to this ‘Fish Marketing and Distribution System’ study, only 1) Before/After Treatment Evaluation can be employed. **Thus, please apply only 1) model.**



Source) 'Evaluation: A Systematic Approach', Freeman and Rossi, 1993, Sage Publication

Summary Sheet 3 : 実現した裨益の測定

・ 認定されたインパクト発揮のプロセス

現状 乾期を中心に水不足
原因 既存施設の老朽化
不法接続による取水行為

目標 水の安定供給
目的 (1) 不明水の減少
(2) 既存水源の最大限の利用
(3) DAWSSA水利権外の水資源について水利用の再配分
提案事業 (1) 改善計画
(2) 拡充計画
とくに排水管網のブロック化
無許可居住区の水道整備

・ 上記の実施により以下の目的を達成する。

- 目標**
- (1) 不明水の減少
 - (2) 既存水源の最大限の利用

評価指標

- 不明水 (UFW) 率
- ダマスカス市内の排水管の延長
総人口に対する排水管網のカバー率
正規の水供給世帯数の増加
水の供給制限時間
- DAWSSA水利権外の水資源からの水供給量の増加

- (3) DAWSSA水利権外の水資源について水利用の再配分

・ 評価指標記入表

	1995	1996	1997	1998(Estimated)	(単位)
基礎指標					
基礎指標					
ダマスカス市の総人口					
ダマスカス市の総世帯数 (許可・無許可合計)					
無許可居住地域の面積					
無許可居住地域の総世帯数					
水の総需要 (a)	468				million m3
水の総生産量	218				million m3
うち有収水量 (b)	36%				%
不足分 (a) - (b)	250				million m3
DAWSSAの財務について					
総収入					
総投資額					
業務利益					
評価指標					
(1) 不明水の減少					
不明水 (UFW) 率	64%				%
(2) 既存水源の最大限の利用					
ダマスカス市内の排水管の延長					
ダマスカス市の総人口に対する排水管網のカバー率					
水の供給制限時間 (時間/日・乾期)					
正規の水供給世帯数 (A)					
(参考指標) 正規でない水供給世帯数 (推定) (B)					
(参考指標) 総水供給世帯数 (推定) (A)+(B)					
(3) DAWSSA水利権外の水資源について水利用の再配分					
DAWSSA水利権外の水資源からの水供給量の増加					
主な増加水源					
()					
()					
()					

Contents of report

which should be submitted to us at the end of consigned study

Head Attachment: Map of the projected sites. Pictures of the sites.

(1) Basic indicators (Last ten years)

- 1) Production and industry : GDP., Production by sectors., Production by regions,etc
- 2) Indicators related to urban environments.

Attachment : Summary Sheet1 (Free form. Local consultant should make the form)

(2) Information on the realization situation of the recommended / planned projects.

- 1) Detailed description of the proposed projects in the report
- 2) Detailed description of the realized projects among the proposed.
- 3) Difference between proposed projects and realized. What is main reason for the difference?

Attachment : Summary Sheet1 (Free form. Local consultant should make the form)

(3) Impact evaluation

- 1) 'Baseline data' (=Data before the projects)
- 2) Data collected after the projects
- 3) Difference between data before situation and data after situation of the treatment (Simple with / without evaluation)
- 4) Indirect (secondary) impact not measured by quantitative indicators (e.g. impact on health, education, environment and so on).

Attachment : Summary Sheet3 (See the attached summary form. However, you do not have to use this if your sheets include the data / indicators suggested in our proposed form.)

(4) Assessment on impact of the technical transfer.

- 1) Description of the seminars / OJT / study in Japan.
- 2) Some examples of the transferred techniques that have been remarkably utilized.
- 3) Impact on the promotion of workers who received technical transfer. Please write the position before the technical transfer and the current position. How do they evaluate impact of technical transfer on personal promotion?

(5) Overall comments on the measured impact (including direct, indirect and technical transfer) by the professionals (=local consultants we chose, I mean, you!)

(6) Suggestion / recommendation for improvement of the proposed projects.

Attachments : A name list of local consultant., Names of person and titles you interviewed., List of your collected reports and written materials)

《Format and style of a report》

A 4 , English, Approximately 30 ~ 50 p (not include the attached written materials you collected), 12 point, Double-space typing, Simple bookbinding

1998年11月16日

調査方法

1、ローカルコンサルタント委託調査の実施方針

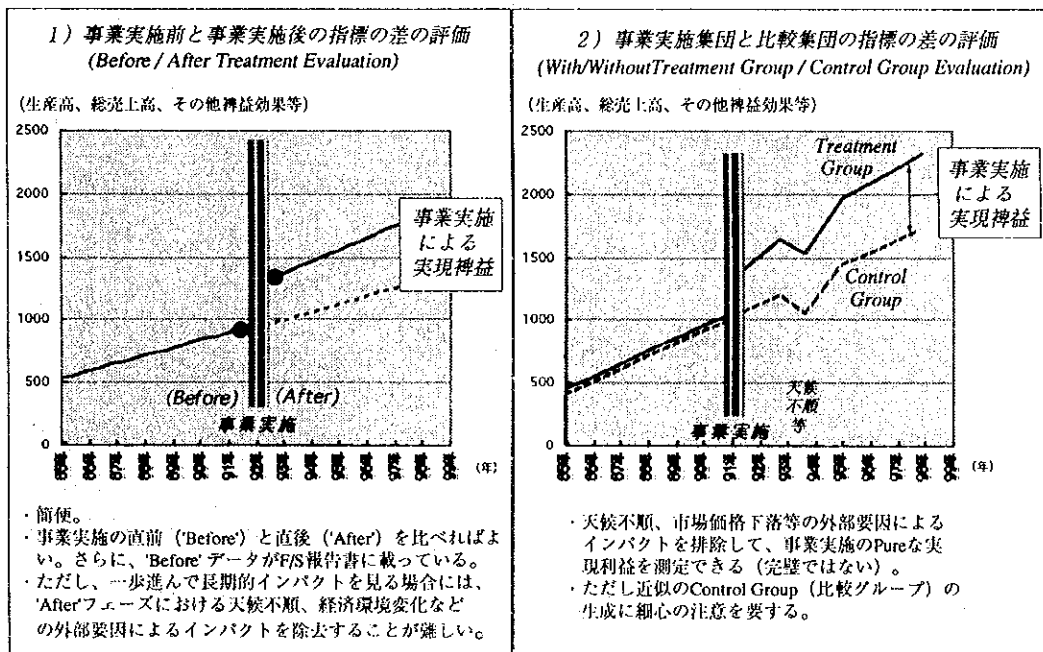
本フォローアップ調査は、「評価」としての性格を強く持つ。とくに、実現した裨益を定量的に評価することに力点を置いている。ローカルコンサルタント委託調査はその一環として実施する。ただし、時間および投入できる人員が限られているので、以下のとおりの簡易評価モデルを採用する。

2、裨益を測定するための評価モデルの説明

提案事業実施による実現裨益の測定は、次のふたつの方法のうちどちらか、あるいは両方を採用して行う¹⁾。

- 1) 事業実施前と事業実施後の指標の差(Before/After Treatment Evaluation)
- 2) 事業実施地域と比較地域の指標の差(With / Without (Treatment / Control Group)Evaluation)

本件「ダマスカス市給水システム改善拡充計画」は首都ダマスカス市全域を対象とし、適当な比較都市がないことを考慮して、上記のうち1)事業実施前と事業実施後の指標の差(Before/After Treatment Evaluation)のみを行うこととする。



¹⁾ それぞれの方法の詳細と理論的裏付けについては、'Evaluation : A Systematic Approach', Rossi, Freeman, 1993, Sage Publication を参照のこと。

3、報告書の目次

添付：事業実施位置図、事業の写真数枚

(1) 基本指標（それぞれ過去10年）

- 1) 生産・産業関連：国内総生産、セクター別生産高、地域別生産高
- 2) 都市環境関連指標：各種
- 3) 添付：サマリーシート1（様式自由。ローカルコンサルタント側で作成）

(2) 実現した事業の状況把握

- 1) 提言された事業の概要
- 2) 実現した事業の詳細な状況
- 3) 提言されていた内容との差異および差異が発生した理由

添付：サマリーシート2（様式自由。ローカルコンサルタント側で作成）

(3) 実現した裨益の測定

- 1) 事業実施前の各種指標
- 2) 事業実施前と事業実施後の指標の差(Before/After Treatment Evaluation)
- 3) 指標として表れない間接裨益（保健、教育、環境、参加型開発促進に関する裨益等）

添付：サマリーシート3→理想的な見本を添付しましたので、それをもとにローカルコンサルタントと交渉し、できる範囲を決めさせて、必ず入れさせてください。

(4) 技術移転の効果の測定

- 1) 実施された技術移転の概要（セミナー、OJT、日本での研修等）
- 2) 移転された技術の活用例
- 3) 技術移転に参加したC/Pの昇進の実態と、技術移転が昇進に果たしたインパクトの評価（本人へのインタビューによる）

(5) 専門家（委託されたローカルコンサルタント）によるコメント

- 1) 実現裨益に関する全体的なコメント
- 2) 今後、同様の事業を実施する場合の改善案

付属：調査実施者名簿、インタビュー先一覧、収集資料先一覧、収集資料リスト、収集資料の現物

《体裁》

A4版、英文、1件あたり30～50ページ程度（収集資料含まずのページ数）、12ポイント、ダブルスペース、簡易製本

4、作業の概要（これから以下の部分はローカルコンサルタントのT/R案には入れておりませんので、口頭で交渉して適宜決めていただきたいと存じます。）

1. 事前準備

- ・ ファイナルレポートの入手（JICA現地事務所から）
- ・ ファイナルレポートを用いて「サマリーシート」への書き込み（「提案事業」欄と「事業実施前の状況」欄）
- ・ 「比較地域」の選定
- ・ インタビュー先の交渉と決定
- ・ データ収集先の交渉と決定
- ・ その他必要な作業

2. データ収集およびヒアリング調査

- ・ 基本指標（それぞれ過去10年）の把握
- ・ ヒアリングの実施
- ・ 必要データの収集
- ・ その他必要な作業

3. レポートの作成とプレゼンテーション

- ・ 目次案に基づきレポートの作成
- ・ JICA 現地事務所への提出とコメント拝受
- ・ コメントに基づき修正
- ・ JICA 現地事務所にてプレゼンテーション
- ・ その他必要な作業

5、必要見込人員

おおよそ4M/M（4人X1ヶ月）

（以上）

T/R for Local Consultant Contract
'Fish Marketing and Distribution System'

12/4/1998

Study Description

1、 Direction

This follow-up survey is a kind of 'evaluation'. Especially the study team will devote much time to quantitatively evaluate 'program impact'. The study consigned to a local consultant is a part of this evaluation process. Unfortunately, because of time constraint, we must employ some simple models for evaluation.

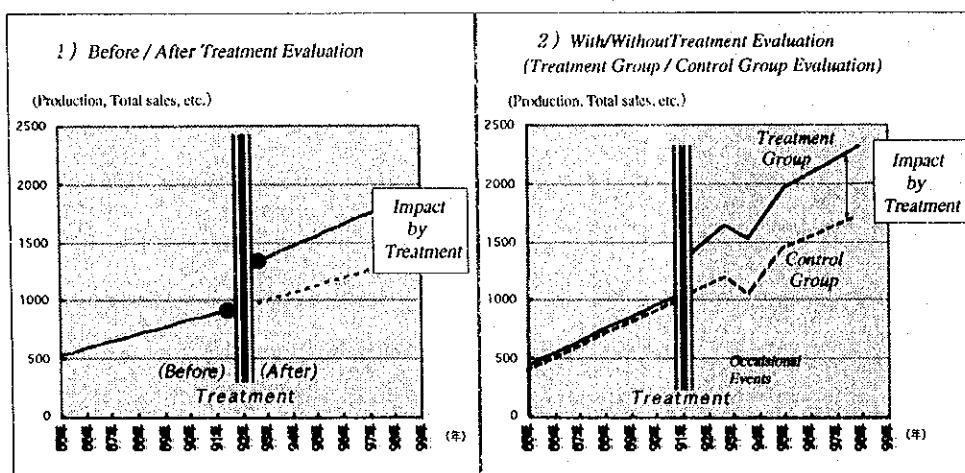
2、 Models for impact evaluation

Both of the following two simple models, or at least one of them¹ should be employed for impact evaluation.

- 1) Before/After Treatment Evaluation
- 2) With/Without Evaluation(Treatment Group / Control Group) Evaluation)

Applying to this 'Fish Marketing and Distribution System' study, only 1) Before/After Treatment Evaluation can employed because this study is. Thus, please apply only 1) model.

Please select 4 model areas, as you prefer, from 16 proposed model areas in the report.



Source) 'Evaluation: A Systematic Approach', Freeman and Rossi, 1993, Sage Publication

¹ See 'Evaluation: A Systematic Approach', Rossi, Freeman, 1993, Sage Publication

Contents of report

which should be submitted to us at the end of consigned study

Head Attachment: Map of the projected sites. Pictures of the sites.

(1) Basic indicators (Last ten years)

- 1) Production and industry : GDP., Production by sectors., Production by regions, etc
- 2) International trade balance, etc: Exchange rates., Imports by commodities., Export by commodities.
- 3) Fishing and related indicators : Production by regions., Average income of fishers

Attachment : Summary Sheet1 (Free form. Local consultant should make the form)

(2) Information on the realization situation of the recommended / planned projects.

- 1) Detailed description of the proposed projects in the report
- 2) Detailed description of the realized projects among the proposed.
- 3) Difference between proposed projects and realized. What is main reason for the difference?

Attachment : Summary Sheet1 (Free form. Local consultant should make the form)

(3) Impact evaluation

- 1) 'Baseline data' (=Data before the projects)
- 2) Data collected after the projects
- 3) Difference between data before situation and data after situation of the treatment (Simple with / without evaluation)
- 4) Indirect (secondary) impact not measured by quantitative indicators (e.g. impact on health, education, environment and so on).

Attachment : Summary Sheet3 (See the attached summary form. However, you do not have to use this if your sheets include the data / indicators suggested in our proposed form.)

(4) Assessment on impact of the technical transfer.

- 1) Description of the seminars / OJT / study in Japan.
- 2) Some examples of the transferred techniques that are remarkably utilized.
- 3) Impact on the promotion of workers who received technical transfer. Please write the position before the technical transfer and the current position. How do they evaluate impact of technical transfer on personal promotion?

(5) Overall comments on the measured 'impact' (including direct, indirect and technical transfer)

by the professionals (=local consultants we chose, I mean, you!)

(6) Suggestion / recommendation for improvement of the JICA projects.

Final Attachments : A name list of local consultant., Names of person and titles you interviewed.,
List of your collected reports and written materials)

《Format and style of a report》

A 4、English、Approximately 30 ~ 50 p (not include the attached written materials you collected)、12 point、Dubble-space typing、Simple bookbinding

ローカルコンサルタント契約T/R (案)
マレーシア国「水産物流通システム総合計画」

1998年12月4日

調査方法

1、ローカルコンサルタント委託調査の実施方針

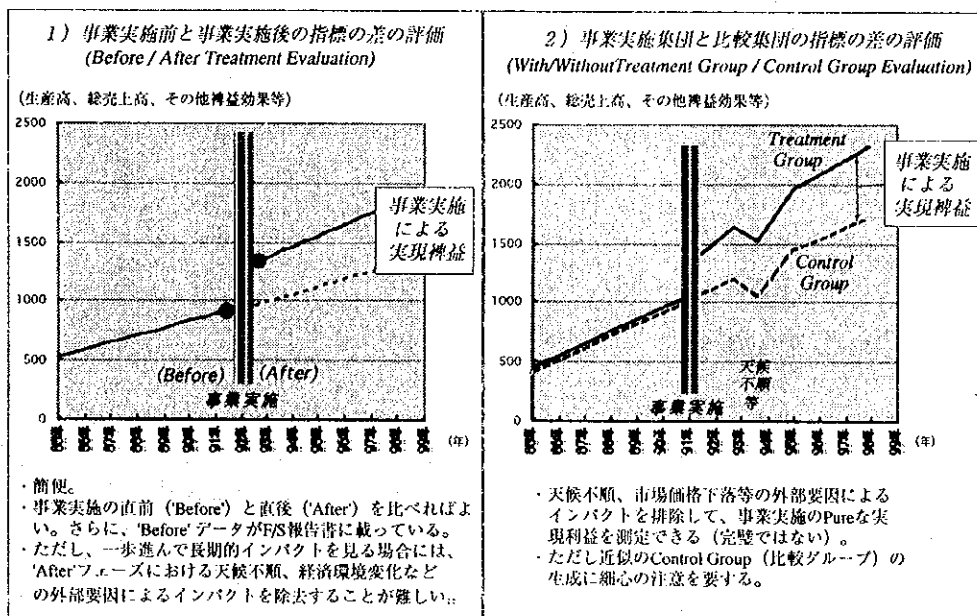
本フォローアップ調査は、「評価」としての性格を強く持つ。とくに、実現した裨益を定量的に評価することに力点を置いている。ローカルコンサルタント委託調査はその一環として実施する。ただし、時間および投入できる人員が限られているので、以下のとおりの簡易評価モデルを採用する。

2、裨益を測定するための評価モデルの説明

提案事業実施による実現裨益の測定は、次のふたつの方法のうちどちらか、あるいは両方を採用して行う¹。

- 1) 事業実施前と事業実施後の指標の差(Before/After Treatment Evaluation)
- 2) 事業実施地域と比較地域の指標の差(With / Without (Treatment / Control Group) Evaluation)

本件「マレーシア国「水産物流通システム総合計画」」はM/Pであることを考慮して、上記のうち1) 事業実施前と事業実施後の指標の差(Before/After Treatment Evaluation)のみを行うこととする。16のモデル地区のうち、調査しやすい4つの地区を選んで評価を行うこととする。



¹ それぞれの方法の詳細と理論的裏付けについては、'Evaluation :A Systematic Approach', Rossi, Freeman, 1993,Sage Publication を参照のこと。

3、報告書の目次

添付：事業実施位置図、事業の写真数枚

(1) 基本指標（それぞれ過去10年）

- 1) 生産・産業関連：国内総生産、セクター別生産高、地域別生産高
- 2) 国際収支関連：国際収支、為替レート、品目別輸出入額
- 3) 漁業関連：地域別漁獲高、全国の漁民平均収入等
- 4) 添付：サマリーシート1（様式自由。ローカルコンサルタント側で作成）

(2) 実現した事業の状況把握

- 1) 提言された事業の概要
 - 2) 実現した事業の詳細な状況
 - 3) 提言されていた内容との差異および差異が発生した理由
- 添付：サマリーシート2（様式自由。ローカルコンサルタント側で作成）

(3) 実現した裨益の測定

- 1) 事業実施前の各種指標
- 2) 事業実施前と事業実施後の指標の差(Before/After Treatment Evaluation)
- 3) 指標として表れない間接裨益（保健、教育、環境、参加型開発促進に関する裨益等）

添付：サマリーシート3→理想的な見本を添付しましたので、それをもとにローカルコンサルタントと交渉し、できる範囲を決めさせて、必ず入れさせてください。

(4) 技術移転の効果の測定

- 1) 実施された技術移転の概要（セミナー、OJT、日本での研修等）
- 2) 移転された技術の活用例
- 3) 技術移転に参加したC/Pの昇進の実態と、技術移転が昇進に果たしたインパクトの評価（本人へのインタビューによる）

(5) 専門家（委託されたローカルコンサルタント）によるコメント

- 1) 実現裨益に関する全体的なコメント
- 2) 今後、同様の事業を実施する場合の改善案

付属：調査実施者名簿、インタビュー先一覧、収集資料先一覧、収集資料リスト、収集資料の現物

《体裁》

A4版、英文、1件あたり30～50ページ程度（収集資料含まずのページ数）、12ポイント、ダブルスペース、簡易製本

4、作業の概要（これから以下の部分はローカルコンサルタントのT/R案には入れておりませんので、口頭で交渉して適宜決めていただきたいと存じます。）

1. 事前準備

- ・ ファイナルレポートの入手（JICA現地事務所から）
- ・ ファイナルレポートを用いて「サマリーシート」への書き込み（「提案事業」欄と「事業実施前の状況」欄）
- ・ 「比較地域」の選定
- ・ インタビュー先の交渉と決定
- ・ データ収集先の交渉と決定
- ・ その他必要な作業

2. データ収集およびヒアリング調査

- ・ 基本指標（それぞれ過去10年）の把握
- ・ ヒアリングの実施
- ・ 必要データの収集
- ・ その他必要な作業

3. レポートの作成とプレゼンテーション

- ・ 目次案に基づきレポートの作成
- ・ JICA 現地事務所への提出とコメント拜受
- ・ コメントに基づき修正
- ・ JICA 現地事務所にてプレゼンテーション
- ・ その他必要な作業

5、必要見込人員

おおよそ4M/M（4人X1ヶ月）

(以上)

Summary Sheet 3：実現した裨益の測定

N0.1

- (1) 選定されたモデル地区16地区のうちから4地区を選び(調査事業が実施している順に4地区を選ぶ)。
- ・4地区を訪問して評価指標を算める。
- ・漁民の生活水準等は現地で、複数の漁民に対する聞き取り調査を実施して情報を集める。
- ・上記の実施により裨益効果を測定するという目的を達成する。裨益の評価指標一覧は以下のとおり。

目標	評価指標
(1) 水産物の増産	→ 代表的な水産物の水揚げ高
(2) 付加価値向上	→ 販売価格の上昇(流通業者への販売価格、小売店での販売価格)
(3) 流通における時間の節約	→ 水揚げから小売店までの到着日数
(4) 流通における費用の節約	→ 水揚げから小売店までの輸送費用
(5) 漁民の生活向上	→ 漁民の平均収入、電化製品の普及率
(6) 外貨の獲得	→ 魚および魚加工製品の輸出額と総輸出額に占める割合

・評価指標記入表

選定されたモデル地区名と番号 ()、NO()	1990	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998(Estimated)
	調査終了年							
基礎指標								
漁業関連指標 70-77のGDP GDPに占める漁業の割合(%) 総水揚げ高 総水揚げ高に占める同モデル地区の割合(%) モデル地区内の漁民の数 モデル地区内の流通業者の数								
評価指標								
(1) 水産物の増産 代表的な水産物の水揚げ高 () () () ()								
(2) 付加価値向上 販売価格の上昇(流通業者への販売価格) () () () 販売価格の上昇(小売店での販売価格) () () ()								
(3) 流通における時間の節約 水揚げから小売店までの到着日数 () () () ()								
(4) 流通における費用の節約 水揚げから小売店までの輸送費用 () () () ()								
(5) 漁民の生活向上 モデル地区内の漁民の平均収入 家電製品等の普及率 自動車 電話 テレビ その他								
(6) 外貨の獲得 魚類の輸出額 魚加工品の輸出額 当該モデル地区の魚類が総輸出額に占める割合								

・評価指標記入表

選定されたモデル地区名と番号 ()、NO()	1990	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998(Estimated)
	調査終了年							
基礎指標								
漁業関連指標 7-7のGDP GDPに占める漁業の割合 (%) 産水揚げ高 産水揚げ高に占める同モデル地区の割合 (%) モデル地区内の漁民の数 モデル地区内の流通業者の数								
評価指標								
(1) 水産物の増産 代表的な水産物の水揚げ高 () () () () ()								
(2) 付加価値向上 販売価格の上昇 (流通業者への販売価格) () () () () 販売価格の上昇 (小売店での販売価格) () () () ()								
(3) 流通における時間の節約 水揚げから小売店までの到着日数 () () () () ()								
(4) 流通における費用の節約 水揚げから小売店までの輸送費用 () () () () ()								
(5) 漁民の生活向上 モデル地区内の漁民の平均収入 家電製品等の普及率 自動車 電話 テレビ その他								
(6) 外貨の獲得 魚類の輸出額 魚加工品の輸出額 当該モデル地区の魚類が総輸出額に占める割合								

‘Establishment of the Fire Fighting Training Center in Brasilia D.F.’

12/4/1998

Study Description

1、 Direction

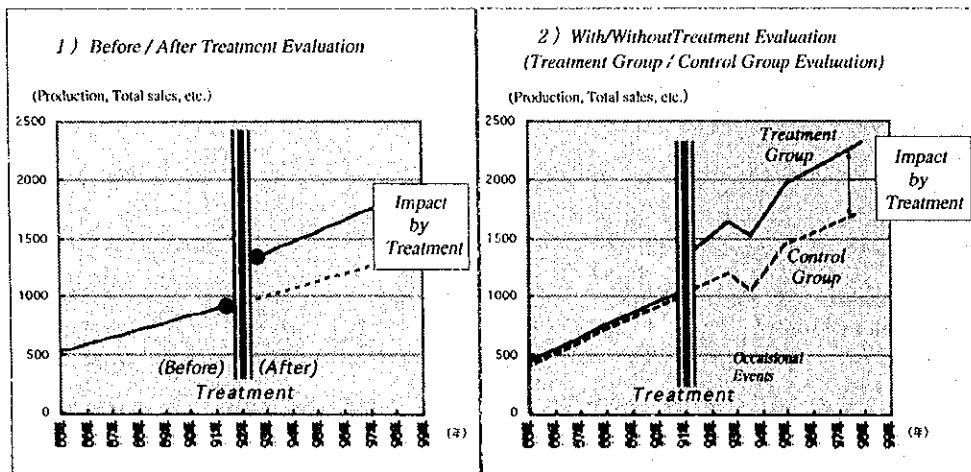
This follow-up survey is a kind of ‘evaluation’. Especially the study team will devote much time to quantitatively evaluate ‘program impact’. The study consigned to a local consultant is a part of this evaluation process. Unfortunately, because of time constraint, we must employ some simple models for evaluation.

2、 Models for impact evaluation

Both of the following two simple models, or at least one of them¹ should be employed for impact evaluation.

- 1) Before/After Treatment Evaluation
- 2) With/Without Evaluation(Treatment Group / Control Group) Evaluation)

Applying to this ‘Fish Marketing and Distribution System’ study, only 1) Before/After Treatment Evaluation can employed because this study is. Thus, please apply only 1) model.



Source) 'Evaluation: A Systematic Approach', Freeman and Rossi, 1993, Sage Publication

¹ See 'Evaluation :A Systematic Approach', Rossi, Freeman, 1993,Sage Publication

Contents of report

which should be submitted to us at the end of consigned study

Head Attachment: Map of the projected sites. Pictures of the sites.

(1) Basic indicators (Last ten years)

- 1) Production and industry : GDP., Production by sectors., Production by regions,ect
- 2) Some indicators related to fire fighting activities

Attachment : Summary Sheet1 (Free form. Local consultant should make the form)

(2) Information on the realization situation of the recommended / planned projects.

- 1) Detailed description of the proposed projects in the report
- 2) Detailed description of the realized projects among the proposed.
- 3) Difference between proposed projects and realized. What is main reason for the difference?

Attachment : Summary Sheet1 (Free form. Local consultant should make the form)

(3) Impact evaluation

- 1) 'Baseline data' (=Data before the projects)
- 2) Data collected after the projects
- 3) Difference between data before situation and data after situation of the treatment (Simple with / without evaluation)
- 4) Indirect (secondary) impact not measured by quantitative indicators (e.g. impact on health, education, environment and so on).

Attachment : Summary Sheet3 (See the attached summary form. However, you do not have to use this if your sheets include the data / indicators suggested in our proposed form.)

(4) Assessment on impact of the technical transfer.

- 1) Description of the seminars / OJT / study in Japan.
- 2) Some examples of the transferred techniques that have been remarkably utilized.
- 3) Impact on the promotion of workers who received technical transfer. Please write the position before the technical transfer and the current position. How do they evaluate impact of technical transfer on personal promotion?

(5) Overall comments on the measured 'impact' (including direct, indirect and technical transfer) by the professionals (=local consultants we chose, I mean, you!)

(6) Suggestion / recommendation for improvement of the proposed projects.

Attachments : A name list of local consultant., Names of person and titles you interviewed., List of your collected reports and written materials)

《Format and style of a report》

A 4 、 English、 Approximately 30 ~ 50 p (not include the attached written materials you collected)、 12 point、 Double-space typing、 Simple bookbinding

ローカルコンサルタント契約T/R (案)
 ブラジル国「消防訓練センター建設計画調査」

1998年11月16日

調査方法

1、ローカルコンサルタント委託調査の実施方針

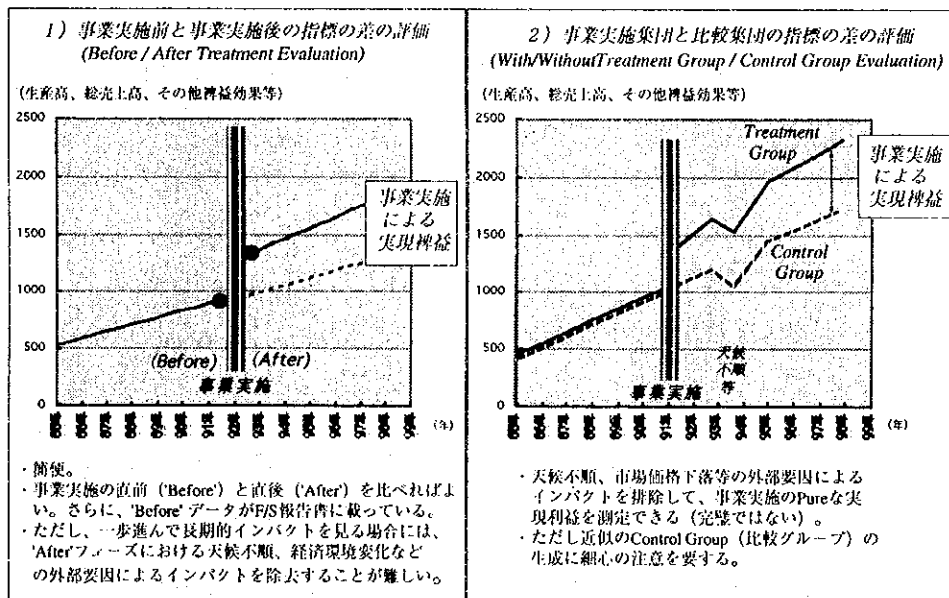
本フォローアップ調査は、「評価」としての性格を強く持つ。とくに、実現した裨益を定量的に評価することに力点を置いている。ローカルコンサルタント委託調査はその一環として実施する。ただし、時間および投入できる人員が限られているので、以下のとおりの簡易評価モデルを採用する。

2、裨益を測定するための評価モデルの説明

提案事業実施による実現裨益の測定は、次のふたつの方法のうちどちらか、あるいは両方を採用して行う¹⁾。

- 1) 事業実施前と事業実施後の指標の差(Before/After Treatment Evaluation)
- 2) 事業実施地域と比較地域の指標の差(With / Without (Treatment / Control Group) Evaluation)

本件「消防訓練センター建設計画調査」は、訓練対象者が全国にわたっており、比較に適した地区が見当たらないこと等を考慮して、上記のうち1) 事業実施前と事業実施後の指標の差(Before/After Treatment Evaluation)のみを行うこととする。



¹⁾ それぞれの方法の詳細と理論的裏付けについては、'Evaluation :A Systematic Approach', Rossi, Freeman, 1993,Sage Publication を参照のこと。

3、報告書の目次

添付：事業実施位置図、事業の写真数枚

(1) 基本指標（それぞれ過去10年）

- 1) 生産・産業関連：国内総生産、セクター別生産高、地域別生産高
- 2) 消防関係指標：各種
- 3) 添付：サマリーシート1（様式自由。ローカルコンサルタント側で作成）

(2) 実現した事業の状況把握

- 1) 提言された事業の概要
- 2) 実現した事業の詳細な状況
- 3) 提言されていた内容との差異および差異が発生した理由

添付：サマリーシート2（様式自由。ローカルコンサルタント側で作成）

(3) 実現した裨益の測定

- 1) 事業実施前の各種指標
- 2) 事業実施前と事業実施後の指標の差(Before/After Treatment Evaluation)
- 3) 指標として表れない間接裨益（保健、教育、環境、参加型開発促進に関する裨益等）

添付：サマリーシート3→理想的な見本を添付しましたので、それをもとにローカルコンサルタントと交渉し、できる範囲を決めさせて、必ず入れさせてください。

(4) 技術移転の効果の測定

- 1) 実施された技術移転の概要（セミナー、OJT、日本での研修等）
- 2) 移転された技術の活用例
- 3) 技術移転に参加したC/Pの昇進の実態と、技術移転が昇進に果たしたインパクトの評価（本人へのインタビューによる）

(5) 専門家（委託されたローカルコンサルタント）によるコメント

- 1) 実現裨益に関する全体的なコメント
- 2) 今後、同様の事業を実施する場合の改善案

付属：調査実施者名簿、インタビュー先一覧、収集資料先一覧、収集資料リスト、収集資料の現物

《体裁》

A4版、英文、1件あたり30～50ページ程度（収集資料含まずのページ数）、12ポイント、ダブルスペース、簡易製本

4、作業の概要（これから以下の部分はローカルコンサルタントのT/R案には入れておりませんので、口頭で交渉して適宜決めていただきたいと思います。）

1. 事前準備

- ・ ファイナルレポートの入手（JICA現地事務所から）
- ・ ファイナルレポートを用いて「サマリーシート」への書き込み（「提案事業」欄と「事業実施前の状況」欄）
- ・ 「比較地域」の選定
- ・ インタビュー先の交渉と決定
- ・ データ収集先の交渉と決定
- ・ その他必要な作業

2. データ収集およびヒアリング調査

- ・ 基本指標（それぞれ過去10年）の把握
- ・ ヒアリングの実施
- ・ 必要データの収集
- ・ その他必要な作業

3. レポートの作成とプレゼンテーション

- ・ 目次案に基づきレポートの作成
- ・ JICA 現地事務所への提出とコメント拝受
- ・ コメントに基づき修正
- ・ JICA 現地事務所にてプレゼンテーション
- ・ その他必要な作業

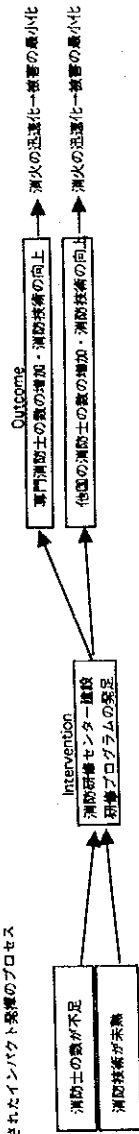
5、必要見込人員

おおよそ4 M/M（4人X1ヶ月）

(以上)

Summary Sheet 3 : 実現した裨益の測定

・測定されたインパクト系統のプロセス



評価指標	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998(Estimated)		
(1) 基礎情報 火事消火件数 (ブラジリア連邦圏) 平均の消火時間 全国の消防士数 ブラジリア連邦圏の消防士数																						
(2) 研修実績 本職生の数 職年 職種 主な設置場所 () () () () () ()				0	0	0																
(3) 第3国研修 (JICA研修) 職年 職種 出身国別数 () () () () () () ()																						
その他																						
(4) 研修コースの概要 a) 教育センター設立当時の概観 (プログラム名、コース数、編成時間等) b) 現在の概観 (プログラム名、コース数、編成時間等) a)-b) 設立当時と現在を比べてどの部分がどのように補充されたか <補充された数量>																						

T/R for Local Consultant Contract 'Constanza Valley Irrigation Project'

12/4/1998

Study Description

1、 Direction

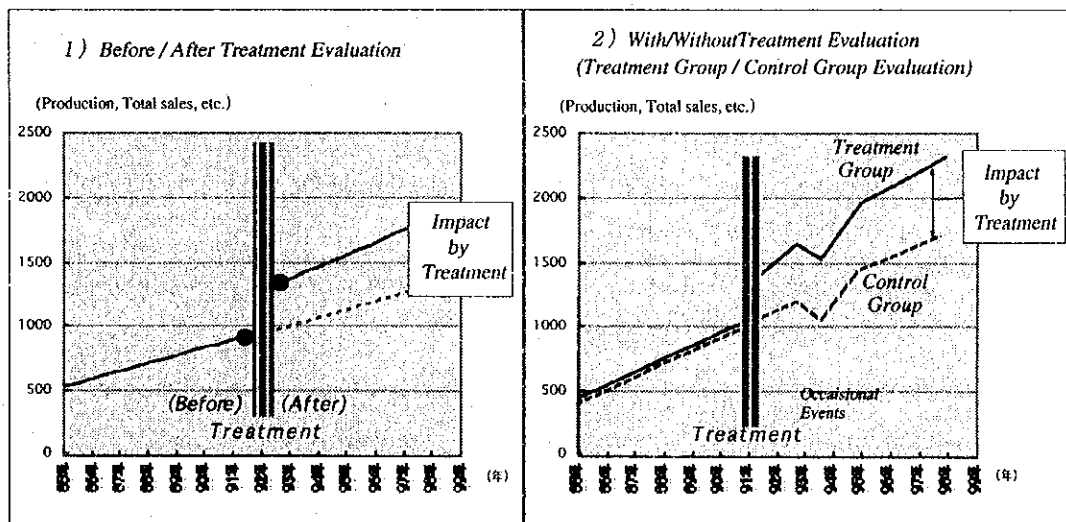
This follow-up survey is a kind of 'evaluation'. Especially the study team will devote much time to quantitatively evaluate 'program impact'. The study consigned to a local consultant is a part of this evaluation process. Unfortunately, because of time constraint, we must employ some simple models for evaluation.

2、 Models for impact evaluation

Both of the following two simple models, or at least one of them¹ should be employed for impact evaluation.

- 1) Before/After Treatment Evaluation
- 2) With/Without Evaluation (Treatment Group / Control Group) Evaluation

Thus, please choose 'Control area' which had had similar conditions at the moment that the proposed project had not been initiated yet.



Source) 'Evaluation: A Systematic Approach', Freeman and Rossi, 1993, Sage Publication

¹ See 'Evaluation :A Systematic Approach', Rossi, Freeman, 1993,Sage Publication

Contents of report

which should be submitted to us at the end of consigned study

Head Attachment: Map of the projected sites. Pictures of the sites.

(1) Basic indicators (Last ten years)

- 1) Production and industry : GDP., Production by sectors., Production by regions, etc
- 2) International trade balance,etc: Exchange rates., Imports by commodities., Export by commodities.
- 3) Agriculture : Production by sectors., Production by regions., Average income of farmers

Attachment : Summary Sheet1 (Free form. Local consultant should make the form)

(2) Information on the realization situation of the recommended / planned projects.

- 1) Detailed description of the proposed projects in the report
- 2) Detailed description of the realized projects among the proposed.
- 3) Difference between proposed projects and realized. What is main reason for the difference?

Attachment : Summary Sheet1 (Free form. Local consultant should make the form)

(3) Impact evaluation

- 1) 'Baseline data' (=Data before the projects)
- 2) Data collected after the projects
- 3) Difference between data before situation and data after situation of the treatment (Simple with / without evaluation)
- 4) Difference between data in the targeted area and data in the non-targeted(control) area (Treatment Group / Control Group Evaluation)
- 5) Indirect (secondary) impact not measured by quantitative indicators (e.g. impact on health, education, environment and so on).

Attachment : Summary Sheet3 (See the attached summary form. However, you do not have to use this if your sheets perfectly include the data / indicators suggested in our proposed form.)

(4) Assessment on impact of the technical transfer.

- 1) Description of the seminars / OJT / study in Japan.
- 2) Some examples of the transferred techniques that have been remarkably utilized.
- 3) Impact on the promotion of workers who received technical transfer. Please write the

position before the technical transfer and the current position. How do they evaluate impact of technical transfer on personal promotion?

- (5) Overall comments on the measured 'impac' (including direct, indirect and technical transfer) by the professionals (=local consultants we chose, I mean, you!)
- (6) Suggestion / recommendation for improvement of the proposed projects.

Final Attachments : A name list of local consultant., Names of person and titles you interviewed., List of your collected reports and written materials)

《Format and style of a report》

A 4、English、Approximately 30 ~ 50 p (not include the attached written materials you collected)、12 point、Dubble-space typing、Simple bookbinding

調査方法

1、ローカルコンサルタント委託調査の実施方針

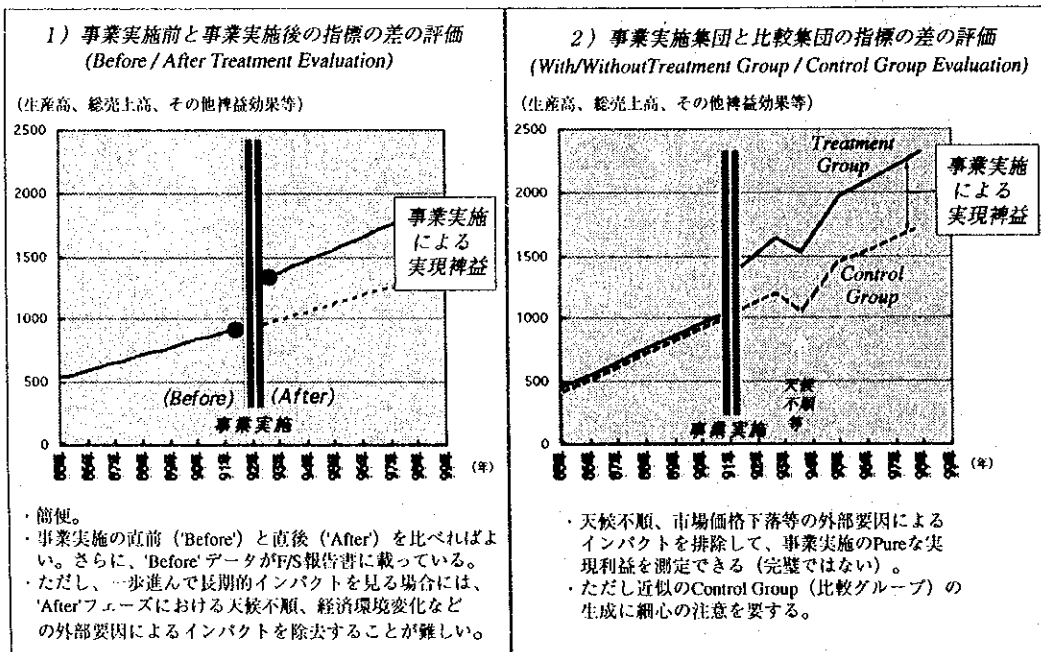
本フォローアップ調査は、「評価」としての性格を強く持つ。とくに、実現した裨益を定量的に評価することに力を置いている。ローカルコンサルタント委託調査はその一環として実施する。ただし、時間および投入できる人員が限られているので、以下のとおりの簡易評価モデルを採用する。

2、裨益を測定するための評価モデルの説明

提案事業実施による実現裨益の測定は、次のふたつの方法のうちどちらか、あるいは両方を採用して行う¹。

- 1) 事業実施前と事業実施後の指標の差(Before/After Treatment Evaluation)
- 2) 事業実施地域と比較地域の指標の差(With/Without(Treatment Group / Control Group) Evaluation)

この灌漑プロジェクトでは両方の評価モデルを用いたい。したがって、プロジェクト実施前の状況がプロジェクト実施地域とよく似た「比較地域」をローカルコンサルタントに選定していただきたいと存じます。



3、報告書の目次

添付：事業実施位置図、事業の写真数枚

(1) 基本指標（それぞれ過去10年）

- 1) 生産・産業関連：国内総生産、セクター別生産高、地域別生産高
- 2) 国際収支関連：国際収支、為替レート、品目別輸出入額
- 3) 農業関連：地域別・品目別生産高、全国の農民平均収入等
- 4) 添付：サマリーシート1（様式自由。ローカルコンサルタント側で作成）

(2) 実現した事業の状況把握

- 1) 提言された事業の概要
- 2) 実現した事業の詳細な状況
- 3) 提言されていた内容との差異および差異が発生した理由

添付：サマリーシート2（様式自由。ローカルコンサルタント側で作成）

(3) 実現した裨益の測定

- 1) 事業実施前の各種指標
- 2) 事業実施前と事業実施後の指標の差(Before/After Treatment Evaluation)
- 3) 事業実施地域と比較地域の指標の差(Treatment Group / Control Group Evaluation)
- 4) 指標として表れない間接裨益（保健、教育、環境、参加型開発促進に関する裨益等）

添付：サマリーシート3→理想的な見本を添付しましたので、それをもとにローカルコンサルタントと交渉し、できる範囲を決めさせて、入れさせてください。

(4) 技術移転の効果の測定

- 1) 実施された技術移転の概要（セミナー、OJT、日本での研修等）
- 2) 移転された技術の活用例
- 3) 技術移転に参加したC/Pの昇進の実態と、技術移転が昇進に果たしたインパクトの評価（本人へのインタビューによる）

(5) 専門家（委託されたローカルコンサルタント）によるコメント

- 1) 実現裨益に関する全体的なコメント
- 2) 今後、同様の事業を実施する場合の改善案

付属：調査実施者名簿、インタビュー先一覧、収集資料先一覧、収集資料リスト、収集資料の現物

〈体裁〉

A4版、英文、1件あたり30～50ページ程度（収集資料含まずのページ数）、12ポイント、ダブルスペース、簡易製本

4、作業の概要（これから以下の部分はローカルコンサルタントのT/R案には入れておりませんので、口頭で交渉して適宜決めていただきたいと存じます。）

1. 事前準備

- ・ ファイナルレポートの入手（JICA現地事務所から）
- ・ ファイナルレポートを用いて「サマリーシート」への書き込み（「提案事業」欄と「事業実施前の状況」欄）
- ・ 「比較地域」の選定
- ・ インタビュー先の交渉と決定
- ・ データ収集先の交渉と決定
- ・ その他必要な作業

2. データ収集およびヒアリング調査

- ・ 基本指標（それぞれ過去10年）の把握
- ・ ヒアリングの実施
- ・ 必要データの収集
- ・ その他必要な作業

3. レポートの作成とプレゼンテーション

- ・ 目次案に基づきレポートの作成
- ・ JICA 現地事務所への提出とコメント拝受
- ・ コメントに基づき修正
- ・ JICA 現地事務所にてプレゼンテーション
- ・ その他必要な作業

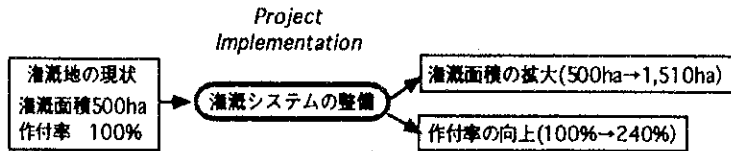
5、必要見込人員

おおよそ4M/M（4人X1ヶ月）

（以上）

Summary Sheet 3: 実現した裨益の測定

・ 規定されたインパクト発揮のプロセス



・ 上記の実施により以下の目的を達成する。

目標	評価指標
(1) 通年の安定した農業生産	→ 作付率
(2) 農家経営の改善と地域農業所得の増加	→ 農業所得、農業投資収益率
(3) 農業生産の拡大	→ 生産高
(4) 都市へ野菜供給の安定	→ サントドミンゴ市への野菜出荷量
(5) 雇用機会創出	→ 総雇用者数、農業雇用者数
その他期待される効果	
(6) 輸出の拡大 (アメリカへ)	→ 野菜の輸出額 (主にアメリカへ)
(7) 生活水準の向上	→ 自動車、家電の普及率、就学率、診療所の数
(8) 経済的側面 (農家の購買力の増大→地域経済活動)	→ 地域GDP、商店数

・ 評価指標記入表

コスタンサ盆地	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998(Estimated)
基礎指標											
耕地面積の基礎指標											
盆地面積 (ha)	2,340										
総耕地面積 (ha)	1,660										
灌漑面積 (ha) (計画値1510ha)	500										
灌漑に用いられている総用水量											
住民人口の指標等											
コスタンサ市の人口	38,524										
コスタンサ盆地の人口	29,200										
総戸数(a)	4,859										
うち農業戸数	2,000										
評価指標											
(1) 通年の安定した農業生産											
平均作付率 (目標値240%)	100%										
(2) 農家経営の改善と地域農業所得の増加											
一戸あたり平均農業所得(b)											
地域農業所得 (=a * b)											
農業投資収益率 (サンプル農家)											
(3) 農業生産の拡大											
花卉栽培 (キウ、バラ、カーネーション、その他)	()										
()	()										
()	()										
果樹 (リンゴ、ブドウ、その他)	()										
()	()										
()	()										
根菜類 (にんにく、ジャがいも、たまねぎ、											
ビート、にんじん、その他)	()										
()	()										
()	()										
()	()										
豆類 (いんげん、鳩豆、その他)	()										
()	()										
()	()										
()	()										
その他	()										
(4) 都市へ野菜供給の安定											
サントドミンゴ市への野菜出荷量											
(5) 雇用機会創出											
雇用者数											
農業雇用者数											
(6) 輸出の拡大 (アメリカへ) (Million US\$)											
ドミニカ共和国の総輸出額	889.7										
うち農産品の総輸出額											
コスタンサ盆地の農産品の総輸出額											
(8) 経済的側面											
地域農業所得 (うえから版記)											
対象地域の農産加工品の品目・出荷高											
盆地内の商店数											
(7) 生活水準の向上											
自動車の普及率											
家電の普及率 (適当な家電を選択のうえ)											
就学率 (小、中、高)											
診療所の数、ベット数											

ローカルコンサルタント契約T/R (案)

1998年11月19日

調査方法

1. 事前準備

- ・ 英文版案件要約表(1997年度)をコンピューターに入力(英文版「案件要約表」を参照のこと)
- ・ 調査対象案件の調査報告書と案件要約表から調査団による提言内容の整理
- ・ インタビュー調査のためのクエスチョネア作成(報告書仕様を参照のこと)

2. インタビュー調査

下記関係機関のうち個々のプロジェクトに応じ関係者へのインタビュー調査を実施する。

なお、今後、回収された情報を公開することを検討しているので、インタビューの際、各機関に対して、公開を前提としている旨を伝達するとともに、必ず、「Disclosure Conformation Form」の記入を依頼して下さい。

開発計画担当政府機関

カウンターパート機関担当者

相手国政府援助窓口担当機関

プロジェクトサイト地域行政機関

プロジェクトサイト地域住民代表

プロジェクトカウンターパート本人

日本国大使館

海外経済協力基金

プロジェクト関係外国ドナー(資金調達に関して)

3. サイト調査によりプロジェクトの進捗状況を確認する。

4. 上記調査により得た情報を整理・分析し、下記の仕様にもとづく報告書を取りまとめる。

報告書仕様

《構成・内容》

I 調査の全体事項（調査日程、従事者、面談相手）

II 当該国全般情報

開発優先分野・開発計画の動向

当該プロジェクトの国家開発計画における位置づけ

III 当該プロジェクトの状況

1. プロジェクトサイトの現状および「案件要約表」に対する追加情報
プロジェクト規模（提案プロジェクト予算）、主な提案プロジェクト／事業内容、関連事業の実施・計画内容、当該国の案件見直しの各項目についての有無
2. 状況分析
 - ① 事業化の前提条件における変化
当該案件の需要見込みの変化
資金源の確認（資金源の予定先、事業規模の影響、要請手続き段階の問題）
提案プロジェクトが現段階で陳腐化していないか
 - ② 実施機関の調整状況
カウンターパート担当者及び実施機関の変質（プロジェクト担当責任者の移動、統廃合等機構改革、民営化）
所管官庁・実施機関の事業化への意思、実施能力の確認
その他の促進または遅延要因
3. 提案プロジェクトに関する現況区分判断
 - ① 実施に至る可能性があると思われる案件については、その決定的な促進要因を3点程度にまとめて整理する。
 - ② 実施に至る可能性がないと思われる案件については、その決定的な制約要因を3点程度にまとめて整理する。
4. 現況改善への提案
実施に至るまでの今後の必要改善点
補完調査・技術支援・代替プロジェクトの必要性（なお、必要がある場合は、具体的調査案（調査種類、技術者の要件、調査対象地区・機関）を記載すること。）

《体裁》

A4版、英文、1件あたり30ページ程度、12ポイント、ダブルスペース

